

# 広報 かがやき

人のうごき (48.4.1現在)
男 15,679人
女 16,967人
計 32,646人
世帯数 7,656

## 幸せなくらしのために スタートした新年度予算

### 30億円の大台をこえる 財政再建・社会福祉・教育文化を重点に

春四月、幸せな市民生活の実現をめざした昭和四十八年度勝山市政がスタートしました。予算規模は、一般会計、特別会計あわせて、総額三十億九千二百二十六万一千円と前年度に比較して、二十五・八パーセントと大きく伸び、はじめて三十億の大台を越す大型予算となっています。予算編成にあたっては、経済および財政の動向を十分に考慮しながら①財政再建の促進、②社会福祉の向上、③教育文化の充実の三つの柱を重点施策として、調和のある発展をみざしてまいります。今月号は、特に私たちのくらしに直結した福祉、生活環境、教育の予算について展望してみました。



#### 財政再建団体からの脱却

市は四十三年に財政再建団体の指定を受け、財政の再建を急いでいるが、予定年度を一年早めることになり、五十一年に指定が解消されるよう返済額を増加しました。

社会経済のいちじるしい発展のなかにあつて、とり残されがちの人々に対し、あたたかい援助の手をさしのべ、市民のみなさんがひとしく幸せな生活を営むことのできる豊かな福祉社会

#### 財政再建と高福祉社会に

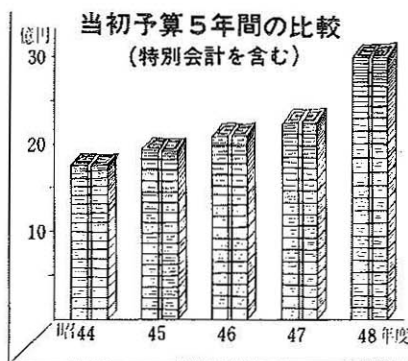
#### 学校建設と整備すすめる

を築くことは、七十年代の最大の課題であります。

その目的にむかい、老人、心身障害児(者)子どもの福祉対策、そして健康を守り、住みよい環境をつくりあげるため、小売対策、交通安全対策、下水道建設のための基礎調査など、生活をさらに豊かにするよう環境整備にきめ細かに取り組んでいます。

心身障害児(者)、ゼロ才児の医療費の無料化をはかる

肉体的にも、精神的にも大きな



なハンディをもつ人たちに暖かい手をさしのべる対策として、四月から心身障害児(者)の医療費の無料化を実施しました。また、健康な赤ちゃんづくりを推進するために、七月からゼロ才児の医療費の無料化を行います。

心身障害者福祉センターを開設

ことしから新しく重度心身障害児の福祉センターを栄町一丁目の母子寮の施設を利用して開設します。二人のヘルパー(奉

#### 生活環境をよくする

生活環境の整備は道路からと道路の改修・舗装をすすめていますが、今年はさらに力を入れています。また、公害対策においても、特に騒音公害対策をすすめるため、工場騒音周波数分析器の購入、公害防止のための資金融資制度を設けました。

一件三百万円が限度

この制度は、市が二十万円の原資(今年度分)を銀行に預託し、銀行から同額の協同融資を受けて貸し付けるもので、金利は年六・四パーセント(うち原信用保証協会保証が一・パーセント)で銀行貸し付け金利(平均八パーセント)に比べてかなり低利。償還は貸付年度据え置き期間をふくめて四年以内となっています。貸し付けの限度額は一件、三百万円です。

対象にはこんな条件

貸し付け対象は資本金または出資金一千万円以下で、従業員三百人以下の事業所です。

窓口は商工観光課と

勝山商工会議所

この貸し付け制度のご利用を希望される方は、市商工観光課または商工会議所(市民会館内)や市総務課生活環境係でご相談ください。

#### 福祉文化都市の実現めざす

市長 高野 春三

うけその再建に努力してきたがさらに一年短縮して五十一年に指定が解けるよう、本年度から返済額の増加をはかった。これは市の財政運営が健全なものになったことを示すもので、市民の伸び、市有林特別会計からの

心身障害者福祉センターの開設など、また、市民生活環境の改善を目的として下水道設置のための基礎調査を本年度から二年計画で行ない、五十一年頃には着手する考えである。

また、懸案の市史編さんについても、明年市制二十周年をめぐりに上巻だけでも発刊できるようにと努力する。

その他、都市計画、土地基盤整備事業の推進はもろん道路路についても改修、舗装率を伸ばし、立石線の新設も行う。市民の生命財産を守る消防力の強化をはかる等々、市民生活の向上のため努力する。

市は、公害を防止するために四月一日から「公害防止等整備資金貸し付け制度」をスタートさせました。

わたしたちのまちは、茂の音に明け、茂の音に暮れる織物のまちとして栄えてきました。しかし、昨年五月、勝山市も騒音防止法による地域指定が適用さ

不況を憂慮されていた繊維産業者も立ち直り国際的には日中国交回復、ベトナム和平と好転しているが、経済面はその見通しが暗く、楽観を許さない状況にある。これらのしわ寄せが、市民生活の上におよぼしている中で、市は「誰もが住みたくなるまち」づくりめざし、基本構想の実施に第一歩を印した。本年度の予算編成にあたっては、次の三点を柱に高福祉文化都市の建設にまい進することになった市民各位の絶大な協力を望みます。

第一には、市財政の再建で、四十三年財政再建団体の指定を

繰り入れ、特別地方交付税の増加などによるものである。

第二には、社会福祉の向上をはかるため、重度心身障害児(者)の医療費の無料化、ゼロ才児の医療費無料化(七月実施予定)児童手当支給範囲の拡大、

第三には、教育文化の振興をはかるため、統合中学校の整備(南部中学校屋内体育館、グラ

ン下、中部中学校々舎の増築)小学校のグラウンド整備、義務教育費父兄負担を全廃するよう予算増額した。

また、懸案の市史編さんについても、明年市制二十周年をめぐりに上巻だけでも発刊できるようにと努力する。

# 3月定例市議会 新年度予算一般二億三三〇二万円 など四十三議案を可決



三月定例市議会は三月十二日から二十五日までの十四日間開かれ、市長提案のあいさつ、施政方針の表明、提案理由の説明のあと各委員に付託、十四・十五日一般質問があつて、十六日本会議を開き一般会計補正予算八千二百三十九万七千円を可決、十七日・十八日休会十九日から各委員において慎重に審議され、二十五日、新年度予算、重点心身障害児(者)等医療費の助成に関する条例の制定など四十三議案を可決しました。本議会に出された諸議案七件も採択されました。十四・十五日に行なわれた一般質問は次のとおりです。



## 一般質問

玉木議員 昭四十八年度

予算案は昨年度に比し、二十五パーセント増となっているが、建設費の割合が少ないように思うが、特に道路関係予算に考慮すべきではなかったか。

市長 建設費は昨年より一億二千五百万円増となっている。玉木議員の指摘通り、道路関係の補修などが遅れている。交通事故の要因ともなるので早急に補修すべき。

玉木議員 昭四十八年度

は細心の注意が必要だ。職員は市長の方針に協力しなければならぬが、一部非協力的な者があつて、聞きかたがその地位をどうしたか。

市長 男子雇用型企業の誘致は困難である。立地条件の整備を急がねばならないと思う。北陸高速自動車道、新幹線が開通するまでに、ぜひ、福井・山線・小松・勝山線の再開発を促進したい。また、繊維工場を郊外移転をはかり、宅地の環境保全に努力したい。市長の方針に職員は当然協力しなければならぬ。新年に全職員に訓辞した。そのようなことがあれば厳重に訓戒する。

玉木議員 昭四十八年度

玉木議員 昭四十八年度  
土地基盤整備事業の施行中、下流域の水利用の確保、特に防火水利用をどのように考えているか。

市長 土地改良事業に伴う水利用は、今後迷惑のからぬように努力する。

玉木議員 昭四十八年度  
下流域の水利用には憂慮している。大災害を防ぐ第一で、関係長官、消防団とも協議し、万全を期すよう努力している。署では、災害発生時を想定して、水利用確保など綿密に計画をたてている。なわ、水利用について改良組合と近く協議する。

玉木議員 昭四十八年度

玉木議員 昭四十八年度  
老人医療費無料化による医療費増大に対する方策をどのように考えているか。

市長 昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

玉木議員 昭四十八年度  
昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

玉木議員 昭四十八年度

玉木議員 昭四十八年度  
昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

た。法外負担については、慎重にしている。

玉木議員 昭四十八年度  
昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

水道課長 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

玉木議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

玉木議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

玉木議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

玉木議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

玉木議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

玉木議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

縮少する傾向がある。規則で決めることはよいとしても姿勢がよくない。理由は何か。

玉木議員 昭四十八年度  
昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

山岸議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

山岸議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

山岸議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

山岸議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

山岸議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

山岸議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

山岸議員 昭四十八年度

昭四十八年度から改正されるが、現在、教頭会で試案を作つて検討中である。

# ああ!!おそろしいにっちゃん

## 考えて...どうしたら交通事故をへらせるか

### 老人らの交通安全教室ひらく

「せまい日本そんなに急いでどこへ行く」  
全国で車の走っていない道路はないといつても決して過言ではない。道路はもとも人間が通行するためにあったものですが、最近では自動車のためにあるような状態で人間が道路から追い出されているのが日本の現状です。事故が発生する数も比例して多くなっています。そこでどうしたら悲しい事故をへらすことができるかを考えて、それを実践することが事故減少への近道ではないでしょうか。

勝田市では、ことしになって二人もの尊い生命が奪われていきます。こんなに交通安全がやましく叫ばれているにも、事故があとをたないのはどうしたことでしょうか。ちよつとした心のゆるみと横着が事故をひき起しているのではないのでしょうか。あなたは、ごくあたりまえのことを無視してはいませんか。

止まる。左右を確認する。無理なスピードは出さない。飲酒運転はしない。など通常わたしたちが当然守らなければならないことを、無視してしまうから恐ろしい結果になるのです。

たしかめて  
またたしかめて、ハイ横断



写真は交通安全教室のナップ

春の交通安全運動が始まった六日、長山公園グラウンドでは、おとしよりを対象に交通安全教室が開かれました。この日集った百三十人のおとしよりは、おとしよりさんから交通ルールや、事故のおそろしさを聞き、実際に

人形を使って自動車にはね飛ばされた状態を見たり、信号機の見方横断歩道の渡り方など勉強しました。どのおとしよりも真剣に交通安全マナーを学んでおられました。また、この日、集ったおとしよりに「交通安全つえ」を贈りました。この「つえ」は昨年米寿を迎えたのを記念に、交通安全に役立ててほしいと寄附された杓子はさん、松蔵さんの名前を入れた板の木のつえで、夜光するように塗料が塗られています。贈られたおとしよりはたい

### 自分で命守らにゃと 老人交通指導委員会結成

市内の老人たちが自分の命は自分で守ろう——と老人交通指導委員会を結成した。

各老人クラブから三、四人が出て総じて五十人で構成。老人に正しい交通マナーを身につけてもらい、老人の事故絶滅をはかるのが会のねらいです。

月一度交通講座を



人間が車にはねられた状態を人形を使って再現……。見学の老人たち「ああ、おそろしいにっちゃん!!」と驚いていた。

子どもたちは、交通事故で親を奪われることによっても犠牲者である。交通遺児は年間、一万人近く「生まれる」という。交通遺児育英会の調査によると、事故によって遺児家庭のくらしは、そのほとんどが苦境に追い込まれている。「将来の生活がどうなるかわからない」という不安感が四七・五〇、「子どもは高校にやれない」という叫び、半数の世帯が「一家心中を考えた」という。

## おでかけはひと声かけて カギかけて

### あき巣にねらわれやすい 時期ですよ

昨年、市内でドロ棒が百三十件発生しています。このドロ棒がどのようになっているか、家のなかにはいつたかを調べてみると、その三分の二以上が玄関、勝手口などの出入口からはいり込んでいます。また「かぎ」のかけ忘れのところからは、たまたま、半敷以上もありました。

市民のみならず、次の点に注意して、みんなが明るく楽しい春を過ごしていただきたいのであります。

「あきす」を防ぐために

- 1 暗くなるとタイムスイッチで、電灯がつくようしておく
- 2 新聞や牛乳ビンなど、毎日配達されるものを忘れずに、とりいれておく。泊りがけで家をあけるときには、必ず隣の人に頼んで、とりいれてもらう。
- 3 「何日までもすにします...」

などというはり紙は、絶対にしない。

■ 出入口などの戸締りをしっかりする

1 出かけるときや寝る前にはもう一度、火の元、戸締りを忘れずに確認する。

2 家をあけるときは、ひとこと隣りへ頼んで出かける。

3 買い物などで、ちよつとの外出でも必ずかぎをかける。

4 合いかぎは、家族みんながひとつづつ持ち、牛乳受箱や、かまのい上にはおかない。

5 風間、家をあけることの多い家庭では、玄関・勝手口・窓などに防犯ベルを取付ける。

6 すに近づいている家のまわりで、不審な物音がしたり、不審な人を見かけたりしたら、すぐ警察へ知らせてください。

■ 送りおかしにご注意

春から夏にかけては、性犯罪がふえる時期です。

■ 親切を防ぐために

1 親切する男と思われても「家まで送ってあげよう」などと甘いことばで誘う不良の「くちぐるま」にのらない。

2 女性の夜のひとり歩きは、できるだけしないようにする。

3 夜おそくなった時は、家の人に迎えに来てもらうか、タクシーなどを利用する。

■ みんなで暴力を遠ざけよう

1 電車やバスの中などの「いたずら」や「いやがらせ」「おどし」など、どんな小さな暴力でも、すぐ警察へ届ける。

2 暴力を見たり、聞いたたりされた方は、すぐ警察(二〇番)へ知らせてください。

■ 愛車には、かぎを

1 自動車やオートバイ、自転車などの被窃もふえています。車は必ずかぎをかける。

2 駐車を利用する場合でも現金や大切なものは、車の中におかない。

## 「パパ、もう一度 おんぶして」

.....もういちど  
おんぶしてもらいたい.....  
ちちのひ、みんな  
おとうさんのおかいた  
わたしは  
おにいさんのおかいた  
おみやげのチョコレート  
なぜぐしゃぐしゃにわたれたの  
あたまもあんなにわたれたの  
おとうさん  
（「天国にいるおとうさま」より）